# 令和6年度 石狩市民図書館の運営

## 1 運営の重点

石狩市民図書館ビジョン(5か年計画:令和2年~令和6年)で掲げる5つの柱について現状を踏まえ、次の内容を運営の重点とする。

#### 柱1 子どもの学びを支援する

- ・乳幼児の読書推進に係る情報や機会を提供
- 学校図書館の利活用を推進

#### 柱2 資料提供や情報発信を通じて生涯学習を支援する

- ・様々なニーズに応じた資料の提供
- ・蔵書、インターネットを活用した多様な情報発信や PR

#### 柱3 市民の誰もが利用できるような環境を整備する

- ・来館が困難な方へのサービスを工夫
- ・地域性を活かした分館サービスの促進

#### 柱4 サービスを支える基盤を整備する

- ・ボランティア、関係団体との連携による事業展開
- ・現状の課題に応じた職員研修を工夫し、サービスの質を向上

## 柱5 利用者の期待に応える蔵書・情報源を構築する

- ・計画的な除籍や新着図書の受入れ等により、魅力的な蔵書を構築
- ・地域行政資料の整備と活用

# 2 推進する取組

# 1. 子どもの学びを支援する

#### ■目的

子どもが本に親しむための機会の提供に努めるとともに、子どもにとって最も身近な図書館である学校図書館を支援します。

#### ■成果指標

指標の名称	単位	令和4年度実績	令和6年度
全国学力・学習状況調査において、学校の授業以外で、普段(月~		d) 515	
金曜日)、1日当たり「10分以上」読書(教科書や参考書、漫画や	%	小 51.5	<b>↑</b>
雑誌は除く))をしている小学校6年生と中学校3年生の割合		中 44.1	

#### ■関連事業

施策・事業	事業の概要
おはなし会	ボランティア等の協力を得ながら、おはなし会・ブックトー
	クを実施
【新】読書への関心・意欲	本に出会う機会をつくりだし読書意欲を喚起するため、子ど
を高める取組	も読書会やおすすめ本紹介、ブックトーク等を実施
子どもの自発的な活動の	関係機関などと連携し、研修機会や情報提供などのほか、子
支援	ども司書など子どもが自発的に本や読書に親しめるような
	事業を実施

# 2. 資料提供や情報発信を通じて生涯学習を支援する

#### ■目的

利用者が求める文献・情報を提供する機能のみならず、所蔵資料の活用、他機関との連携を通じた情報発信、また利用者間の交流や学習機会の創出により、生涯学習活動を支援します。

## ■関連事業

施策・事業	事業の概要
情報提供機能の強化	データベースを活用し、レファレンスサービスの質を高
	めるとともに、相互貸借制度や国会図書館のデジタル資
	料閲覧サービス等により、所蔵していない情報の提供機
	能を強化
【新】図書館活動 PR のため	より多くの市民に気軽に図書館にきてもらうことができ
のイベント等の充実	るようなイベントや取組を充実

# 3. 市民の誰もが利用できるような環境を整備する

#### ■目的

様々な理由で市民図書館に来館することが困難な方へのサービスの充実を図り、誰もが図 書館のサービスを受けられるように努めます。

## ■関連事業

施策・事業	事業の概要
来館が困難な方へのサービ	宅配サービスや返却等のサービスポイントの設置、出張
スの充実	貸出等により、来館が困難な方へのサービスを実施
分館でのサービス活性化	地域の実情やニーズに合わせた蔵書構築や特集展示など
	分館サービスの活性化を推進

# 4. サービスを支える基盤を整備する

#### ■目的

市民とともに成長する図書館を目指し、図書館運営に関する情報を積極的に公開するとともに、対話の場を増やし、市民との協働を進めます。

また、施設の補修や情報機器等の更新を適切に行うことで利用しやすい環境を提供するとともに、専門的職員の配置や職員の資質向上を図るなど、基本サービスの充実に不断に取り組みます。

#### ■関連事業

施策・事業	事業の概要
市民協働による事業展開	市民・ボランティア、市民活動団体との交流、また活動
	支援を実施するとともに、協働により市民とともに歩む
	図書館を目指した事業を展開
職員の資質向上	職員ニーズを把握した上で、現状の課題に応じた研修を
	継続的に行い、サービス・事業を質的に向上

# 5. 利用者の期待に応える蔵書・情報源を構築する

# ■目的

魅力的な蔵書を構築して利用者の多様なニーズに応えるとともに、インターネット環境の 活用を通じて、調べものに役立つ環境を整えます。

# ■成果指標

指標の名称		令和4年度	令和6年度
		(実績)	(目標)
市民図書館(本館)の入館者数	人	175, 737	<b>↑</b>
司書研修等を行った回数	回	17	<b>↑</b>
ボランティアなどによるイベントの開催数	口	51	<b>↑</b>

## ■関連事業

策・事業	事業の概要	
魅力的な蔵書・情報源の構	毎年一定程度の新鮮な資料(雑誌・新聞を含む)を購入し、	
築	魅力的な蔵書を構築	
寄贈図書の活用	寄贈図書やスポンサー雑誌等による蔵書の充実	
地域行政資料の充実	特に石狩に関するあらゆる形態の資料収集を行うととも	
	に、整備・活用を強化	

# 令和6年度 花川南分館の運営

地域の特性、住民のニーズ等を考慮して、次の内容に取り組みます。

#### 1 選書:充実させる分野

- ・文学(小説、エッセイ等)
- •生活関連(料理、園芸等)

# 2 高齢者サービスの充実

- ・大活字本の入替を実施し、新鮮な書棚となるようにする
- 全館で所蔵している大活字本のリストを作り、貸出につなげる
- ・昨年に引き続き書棚の見出し、図書配置方法などの見直しを進め、高齢者 が利用しやすい環境をつくる
- ・便利なサービスについてパンフレットを目立つところに設置し、PR する

#### 3 児童(乳幼児)サービスの充実

- ・隣接する小学校の図書館内に花川南分館新着児童書の書影を掲示し、児童 が興味を持って来館できるように学校司書と連携する
- ・長期休業期間前など、学校図書館内に花川南分館の利用案内やおすすめ本 のチラシを掲示し、児童が利用しやすいように工夫する
- 痛みの激しい児童書の修理、買い替えを進める
- ・本を探しやすいレイアウトとなるよう、図書の配置場所を工夫する

#### 4 利用者増加への取り組み

- ・資料の修理や買い替えを積極的に行う
- ・図書館入口から書棚までの間にある新着コーナー、特集コーナー、掲示 板、チラシなどの配置を見直し、利用しやすい動線となるように整える
- ・文庫本は時代小説のニーズがあるため積極的に収集し、特色ある書棚となるようにする

# 令和6年度 八幡分館の運営

地域の特性、住民のニーズ等を考慮して、次の内容に取り組みます。

## 1 選書:充実させる分野

- 医療 健康
- •生活関連(料理、園芸等)

#### 2 高齢者サービスの充実

- ・利用者一人一人に応じた声かけや、ニーズに沿った対応を心掛ける
- ・小さな字が読みづらくなってきた方などに対し、大活字本や朗読 CD を PR する
- ・利用者が好んでいる作家の読み物や健康に関する本など、興味をもっていた だけそうな資料を紹介する

# 3 児童(乳幼児)サービスの充実

・必要に応じて幼児向けスペースを用意し、保護者やきょうだいがゆっくり本を選ぶことができるように出来る範囲で声をかけ、一緒に遊ぶ

#### 4 利用者増加への取り組み

- ・きめ細やかで、画一的ではないサービスの提供を心掛ける
- ・クラシック音楽やオルゴール CD を BGM として流す工夫により、散歩途中など気軽に来館できる雰囲気をつくるとともに、視聴覚資料として貸出していることも PR する
- ・複製絵画資料の貸出サービスがあることを伝えるため、カウンター背後の 壁面で展示を行う

# 令和6年度 浜益分館の運営

地域の特性、住民のニーズ等を考慮して、次の内容に取り組みます。

# 1 選書:充実させる分野

- ・文学(小説、エッセイ等)
- 医療 健康

#### 2 高齢者サービスの充実

・図書館利用者や、浜益コミュニティーセンター「きらり」を活用する市民 と積極的に会話し、読みたい本のニーズなどを収集して貸出につなげる

# 3 児童(乳幼児)サービスの充実

・幼児室利用者が本に触れ、楽しさを味わっていただけるよう、赤ちゃん絵本 など興味を持てるような本の展示をする

## 4 利用者増加への取り組み

- ・地域の歴史である庄内藩ハママシケ陣屋に関する展示コーナー(陣屋展)を、 陣屋研究会の方々と協力し、充実させる
- ・ハママシケ陣屋関連の資料提供を積極的に行う
- ・ 陣屋展を囲み、色々な方が交流できる場所となるように PR する
- ・季節に合わせて館内を装飾し、子どもも大人もほっとする雰囲気づくりを工 夫する

# 令和6年度 あいかぜとしょかんの運営

地域の特性、住民のニーズ等を考慮して、次の内容に取り組みます。

## 1 選書:充実させる分野

- ・文学(小説、エッセイ等)
- ・医療・健康

## 2 高齢者サービスの充実

- ・除籍本を地域の特別養護老人ホームなどの高齢者施設へ提供し、有効活用 する
- ・ニーズに沿った除籍本を提供できるよう、要望の聞き取りを行う
- ・大活字本を取り寄せ、興味を持っていただけるよう工夫して展示する

# 3 児童(乳幼児)サービスの充実

同じ施設内にある保育園に新しい絵本を紹介し、興味をもっていただく

## 4 利用者増加への取り組み

・厚田学園と連携し、児童生徒が読書に興味を持ってもらえるような行事を 工夫して取り入れる